

ATI 研究助成 2021 年度募集について

1. 目的

ATI 研究助成は、新世代の科学技術研究を担う研究人材の育成を図るため、自然科学における萌芽的・独創的、かつ新しい研究領域を切り拓く可能性のある研究を行う若手研究者への研究費助成を目的としています。

2. 対象研究領域

現在「ナノサイエンス」を統一テーマとし、ナノの領域の微細な材料やデバイス、加工プロセスを学術的・融合的に研究する萌芽的研究、チャレンジングな研究、常識を覆す独創的研究を期待します。生体単分子計測など、バイオナノサイエンスも対象とします。

3. 特徴

当財団の研究支援事業は、専門領域や世代を超えた研究者同士による積極的かつ自由な交流が特徴です。採択者には研究助成金に加え、採択者同士・選考委員・研究者である理事等役員との交流の機会が提供されます。更に当財団の5つのナノサイエンス関係研究会、約100名の第一線の研究者との交流する機会もあります。

また多くの採択者が、数年後に文部科学大臣若手科学者賞を受賞しています。

- ・2019年度は3名、2020年度は2名、2020年度は1名が受賞
- ・当財団の推薦により直近5年間で3名が受賞

4. 募集要項

①募集期間

2021年5月10日～6月17日（申請書提出期限）

②資格

日本国内の大学・公的研究機関の研究者（大学院生、学生を除く）

2021年9月30日時点で満35歳以下の方

（産休・育児休業等を考慮しますので、お問い合わせ下さい）

国籍は問いませんが、助成期間「1年間」は主に国内での研究を継続する方

③助成期間

2021年10月1日より2022年9月30日まで

④助成金額と件数

100万円／件、5件

⑤助成金の使途

全額を採択テーマの研究費とし、管理費（オーバーヘッド費用）には使用しないこと。

参考費目：備品費、消耗品費、旅費、諸謝金、資料費、印刷費、通信費など

⑥報告・交流

(1) テーマ説明と意見交換（採択翌年春開催予定）

(2) 研究成果報告書提出

（助成期間終了後の10月、書面・ホームページ等で公開予定）

(3) 研究助成金決算書提出（同10月）

(4) 成果報告と意見交換（同翌年春開催予定、概要報告・ポスター発表）

5. 応募

①申請書

当財団ホームページ (<http://www.ari.or.jp/>) より申請書 (様式1～3) を入手下さい。

*様式1の記入において、別紙「キーワード」を参照下さい。

*申請書は日本語または英語とします。

②応募方法

別紙「応募方法」を参照下さい。

6. 選考

①選考方法

当財団選考委員会にて申請書に基づき審査・選考し、理事会において決定します。

②選考基準

- (1) 研究領域が“ナノサイエンス”と一致 (キーワードも考慮) しているか
- (2) 将来の新領域を切り拓く萌芽的研究であるか
- (3) 従来の研究の延長ではない、申請者個人の発想による提案であるか
- (4) 研究の方法と実行計画は妥当であるか
- (5) 提案内容の遂行にふさわしい研究能力を有しているか
- (6) 助成金の使途は妥当であるか

③選考委員

委員長	森田 清三	(大阪大学名誉教授)
副委員長	齋藤 理一郎	(東北大学大学院理学研究科教授)
委員	佐々木 裕次	(東京大学大学院新領域創成科学研究科教授)
委員	田口 英樹	(東京工業大学科学技術創成研究院教授)
委員	湯浅 裕美	(九州大学システム情報科学研究院教授)
委員	渡邊 聡	(東京大学大学院工学系研究科教授)

④結果の通知

選考結果は2021年9月下旬に電子メールにて通知する予定です。

7. その他

①助成期間「1年間」は研究継続することを確認して下さい

②助成金の取り扱いとして、管理は所属機関の委任経理として下さい

③異動する際には事前にご相談下さい

④謝辞

助成対象研究の成果発表においては、謝辞に「ATI 研究助成」を入れて下さい
(英文 Advanced Technology Institute Research Grants)

⑤奨励賞

助成採択者に応募資格があります。内容はホームページを確認して下さい。

応募資格者には事務局より電子メールでご案内しますので、ぜひ応募して下さい。

【問合せ先】

公益財団法人新世代研究所

〒104-0031 東京都中央区京橋 1-4-10 大野屋京橋ビル 3階

電話：03-3516-3327

電子メール：ati-grant@sii.co.jp

担当：佐藤・青木